

■工業振興施策

(1)中小企業振興金融貸付利子補給事業

工業振興事業として、瑞穂町中小企業振興資金の借入資金の利子補給は経営基盤の脆弱な中小企業の支援としては効果があるが、客観的に審査をする必要がある。

予算全体から見て、商工業への予算配分が全体予算の0.6%と低い。産業課の活動を活発にするために、産業課への職員配置を増やしてもよいのではないか。

利子補給だけでなく企業発展のために、コーディネーターの配置など、積極的な支援をしては。

■農業振興施策

(2)狭山池上流部整備事業

水はけが悪い特性を生かした、ショウブなどの水生植物を植えては。

回廊計画の散策ルートとして遊歩道を造るなど対策が必要ではないか。

元年度は進展がなく、今後の方向性も示されていないのは問題である。

今後、総務産業建設委員会としても所管事務調査とし見守る必要があるのでは。

(3)近代化農業経営支援事業

農業収入が少ないことが、後継者不足につながっている。

現在まで新規就農者に、離農者が出ていないということは、効果があると思われる。

～評価結果～

工業振興施策については概ね効果があった。狭山池上流部整備事業については、今後の整備計画が不明で継続調査が必要との意見が多く、委員会で調査を継続していく。

■学力向上施策

(4)フューチャースクール (5)学習サポーター

フューチャースクールは中学校では申込者が各校30人前後であり、費用対効果は低い。

フューチャースクール事業は元年度で終了となるが、この事業を通じて学力向上への課題の分析ができなければ次の事業で成果が出るとは思えない。

学習サポーターは効果が示されている。中学校も含め、学習サポーターを充実させるべきだ。

■一般介護予防施策

(6)脳の健康教室 (7)ぴんぴん健康体操教室

脳の健康教室もぴんぴん健康体操教室も要介護にならないように必要な事業である。

これらの事業を通じて、自主グループができてきていることは評価できる。

ぴんぴん健康体操教室の会場がふれあいセンター、脳の健康教室がシルバー人材センターの「シルバーまちかど」だけであり、行きたくても通えないという話を町民の方から聞いている。

交通手段の問題もあるが、会場を増設して参加しやすくする工夫が必要ではないか。

～評価結果～

一般介護予防施策については効果があった。学力向上施策では、元年度で終了となるフューチャースクール事業の成果や課題の分析に対し不十分とする意見が多く、引き続き2年度にスタートした地域未来塾について継続して調査していく。

議員が4つの施策7つの事業を評価

決算特別委員会4日目は、議員が元年度の町の事業について、議員間で議論し評価する議員間討議を行いました。今回は特に2つの見直しを行いました。1つ目は政策全体の視点からの事業評価。2つ目は評価項目の内容を変更しました。これは町の政策や事業について判断の根拠を明確にし、町民の声を町の政策や事業にこれまで以上に反映させることを目的とするものです。

評価対象事業

■工業振興施策

(1)中小企業振興金融貸付利子補給事業

■農業振興施策

(2)狭山池上流部整備事業

(3)近代化農業経営支援事業

■学力向上施策

(4)フューチャースクール

(5)学習サポーター

■一般介護予防施策

(6)脳の健康教室

(7)ぴんぴん健康体操教室

5つの評価項目

- 1 必要性…住民の要望や町の発展に的確にしているか
- 2 妥当性…税金を使って行うべき事業だったか
- 3 整合性…長期総合計画、その他計画と整合しているか
- 4 緊急性…事業の優先順位として妥当であったか
- 5 有効性…最小の経費で最大の効果があったといえるか

令和元年度決算特別委員会事業評価シート集計表

評価項目	評価結果	(1)中小企業振興金融貸付利子補給事業	(2)狭山池上流部整備事業	(3)近代化農業経営支援事業	(4)フューチャースクール	(5)学習サポーター	(6)脳の健康教室	(7)ぴんぴん健康体操教室
必要性 (住民ニーズ)	①必要性が高い	9人	2人	8人	3人	14人	7人	8人
	②どちらかと言えば必要性がある	5人	5人	4人	8人		7人	6人
	③必要性が低い		4人	1人	3人			
	④必要性が認められない		2人	1人				
妥当性 (町で行わなければならないか)	①町が主体的に行うことが妥当	4人	5人	5人	1人	11人	2人	3人
	②どちらかといえば町が行うべき	8人	3人	5人	7人	3人	10人	8人
	③側面的な支援に留めるべき	2人	4人	3人	6人		2人	3人
	④必要性がない		1人	1人				
長計、その他計画との整合性 (計画的か)	①計画に合致している	7人	2人	4人	4人	11人	2人	3人
	②概ね合致している	6人	2人	10人	5人	3人	9人	9人
	③計画に一部合致している	1人	5人		4人		2人	2人
	④合致しているとは言い難い		4人		1人			
緊急性 (優先的に実施する必要があるか)	①緊急性が高い	3人	1人	1人	3人		4人	6人
	②比較的緊急性がある	9人	3人	11人	9人	13人	7人	6人
	③緊急性が低い	2人	6人	2人	2人	1人	3人	2人
	④緊急性が認められない		3人					
有効性 (最も有効な方法か)	①有効と認められる	7人		5人		2人	1人	2人
	②さらなる工夫が必要	7人	1人	7人	10人	12人	13人	12人
	③有効性が低い		11人	2人	2人			
	④有効性が認められない		1人		2人			